

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東久留米市本町 1 - 1 3 - 1 コンフォール東久留米 1F
園名	NICOLAND ほいくえん東久留米

1. 活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由>

散歩に行った際に、木の枝や石などで叩くと色々な音がする事に興味を示していた為、室内でも音や音楽あそびが制限なく出来る時間が持てると良いと思いテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

4月から3月まで月に2回「音の日」を設定した。
雨の日など不定期。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

マンションの一室の為、頻繁に2階から音が響くと苦情が入り、今までは思いきり音を楽しむことができなかつた為、床を防音効果のあるものへ変えた。
すず、タンバリン、マラカス、ピアノなどの楽器、スカーフ、CD、CD ラジカセなどは園にあった物を使用。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

音楽に合わせてマラカス、タンバリン、すずなどの楽器を使って子ども達が自由に「音」を楽しんだ、また、保育者が弾くピアノに合わせてスカーフ、大型スカーフなどを使い子ども達が自由に「音」に触れ合う時間を作った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

「先生カンカンカンカン」って音がするねー。「こっちはなんだか違う音がするねー」

「〇〇君こっちも叩いて。」と散歩中に「音」に興味を示す。

「本当だ。なんだか素敵な音だね」「演奏会みたいだね。」「そうだ今度保育園でも演奏会出来たら素敵だね。」

などとこどもたちとのやり取りから「音」への探求がはじまった。

月2回の「音の日」では、はじめは楽器を自由にただ叩く姿しか見られなかったが、回数を重ねるうちに、だんだんと音楽に合わせてリズムカルに叩く事ができるようになってきた。

「これははどんな音がするかな」などとなるべく色々な楽器に触れさせる機会を設けた。

「このぐらいの強さで叩いてごらん」などと保育者とのやり取り続けていくうちに、ピアノの音に合わせてスカーフなどの強弱の付け方もできるようになった。

2歳児を中心に行っていた活動だが、0、1歳児クラスのこどもたちも興味を示して参加する場面が見られた。

防音の床になってからは思いきり室内で「音」遊びができるようになった。

最後は2歳児でピアノや音楽に合わせてミニ演奏会を行った。







5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

毎月の職員会議の後に今月の「すくわく」の振り返りを行った。

はじめは演奏会ができるようになるか、不安しかなかったようだが、継続は力なりで子どもたちと毎月「音」を追求していくたび、日々のこどもの成長しを目の当たりにすることができた。

先生たちもプライベートで「この曲はリズムが取りやすそう」、「演奏会に使えるそう」などと「音」に興味を示す職員が増えた。